

## 旋盤のバイト調整が肝心

～ 春日部工業高校で今年度の技能指導がスタート ～

9月18日、埼玉県立春日部工業高等学校での今年度後期の技能検定試験受検へ向けた機械加工職種普通旋盤作業の技能指導の講座がスタートしました。



今年度受講するのは、同校機械科の2年生4名と3年生2名の合計6名で、普通旋盤3級の技能検定資格の取得を目指しています。

指導にあたるのは、高等技術専門校等での指導歴が長い海老沢瞳さん。



### ＜技能検定試験の説明をする海老沢さん＞

指導の初日となったこの日は、技能検定の実技試験の概要や試験課題についての説明と具体的な作業の手順と注意点を40分ほど座学形式で指導し、続いて実際に使用する工具（切削するための刃物＝バイト、切削屑を取り除くためのペンチなど）や測定器（金尺、

ノギス、マイクロメータ、シリンダーゲージなど）、そして試験課題となる部品の材料を、それぞれ確認しました。

休憩をはさみ、いよいよ旋盤に向かいます。旋盤の横に作業台を設置して工具や測定器類を取り出しやすい様に配置します。

そこでまず行うのが「バイトの高さ調整」で、これがしっかりできていないと刃物（バイト）の刃先が工作物の中心位置に当らず、安全で精度の高い切削が出来ません。旋盤を動かす前にも重要な作業があることを受講生も認識して、真剣に取り組んでいました。



### ＜バイトの組付け高さ調整を実際にやって見せる＞

同校では今年度12回の技能者派遣による指導を予定していますが、教員の皆さんも技能指導の仕方を学び取ろうと、13名の機械科の教員が2名ずつ交替で生徒の技能指導のサポートを兼ねて参加するようにローテーションが組まれていて、熟練技能者派遣を効果的に活用しようという姿勢がみられます。